

教育長報告

1 報告事項

平成18年第5回沖縄県議会(12月定例会)における質問・答弁概要について

2 事項の説明

- 平成18年12月13日に開会した平成18年第5回沖縄県議会(12月定例会)における代表質問、一般質問において主に次のような質問等があった。

主な質問事項

- (1) 教育基本法改正について：新川秀清、當山眞市、奥平一夫
- (2) 平成7年度の文部省通知を受けてのいじめ対策の取り組みについて：當山眞市
- (3) いじめ件数と自殺人数について：當山眞市
- (4) 自殺防止対のためのチャイルドライン設置について：當山眞市
- (5) 養護学校生への就労支援事業の取り組みについて：當山眞市
- (6) 小学校における30人学級について：新川秀清、奥平一夫、新里米吉、前田政明
- (7) 全国高校総体の会場選定と競技場の設営状況について：當山眞市
- (8) 全国高校総体の選手育成と監督の選任について：當山眞市、新里米吉
- (9) 全国高校総体開催における観光関連業界との連携について：當山眞市
- (10) 全国高校総体の県営スポーツ施設の整備計画と進捗状況について：新里米吉
- (11) 全国高校総体開催に伴う市町村との連携等について：新里米吉
- (12) 世界にはばたく人材の基礎づくりの推進について：前田政明
- (13) みんなが世界一になれる平等なチャンスについて：前田政明
- (14) スポーツの振興について：前田政明、新里米吉
- (15) 毎年100人の海外留学生派遣について：新里米吉、嘉陽宗儀
- (16) 一芸に秀でた地域人材の教員登用について：新里米吉
- (17) 本格的なサッカー競技場の建築場所と着工予定について：新里米吉
- (18) 高度な専門知識と技術を身につけた人材育成について：嘉陽宗儀
- (19) 世界で活躍できる優秀な人材のバックアップについて：嘉陽宗儀
- (20) 世界水準の技や考え方を子どもたちへ伝える取り組みについて：嘉陽宗儀、新里米吉
- (21) 学校給食に減農薬・有機農法による食材を取り入れることについて：比嘉京子
- (22) 教育機関の女性管理職登用について：比嘉京子

このうち、「教育基本法改正について」「いじめの件数と自殺人数について」「小学校における30人学級について」「全国高校総体の県営スポーツ施設の整備計画と進捗状況について」「毎年100人の海外留学生派遣について」の答弁要旨は、次のとおりです。

(1) 教育基本法改正について

質問要旨： 教育基本法改正について見解を伺う。

答弁要旨： 教育基本法については、同法の制定当時と社会状況は大きく変化し、いじめ、不登校、中途退学などの様々な問題が、教育現場で指摘されております。

教育基本法の改正は、このような社会の変化に応じて、改めて教育の基本を確立し、その振興を図るため、現行法の普遍的な理念は大切にしながら、将来に向かって、新しい時代の教育の基本理念を明確にすることが趣旨であると理解しております。

現在、国会において同法の改正案が継続審議中であり、国会の審議の推移を見守っていきたいと考えております。

(3) いじめ件数と自殺人数について

質問要旨： 小、中、高別のいじめ件数と自殺人数は何人か。

答弁要旨： 平成17年度におけるいじめの発生件数は、小学校71件、中学校257件、高等学校32件、合計360件が報告されております。

前年度に比較すると40件の増となっております。

なお、本県においては、いじめを理由とする自殺の報告はありません。

(6) 小学校における30人学級について

質問要旨： 小学校の30人以下学級をいつまでに実現しますか。

答弁要旨： 本県では、現在、小学校1・2年生について、35人学級編制を行っております。小学校3年生以上については、少人数指導のための指導方法工夫改善による加配教員を配置して、指導の充実を図っているところであります。

30人学級については、当面、低学年の導入を検討して参りたいと考えております。

また、実施時期等については、今後、国の動向等も踏まえつつ、検討していきたいと考えております。

(10) 全国高校総体の県営スポーツ施設の整備計画と進捗状況について

質問要旨： 老朽化やルールの変更等による県営スポーツ施設の改築や整備等についての計画や進捗状況を伺いたい。

答弁要旨： 全国高校総体の競技施設については、既存施設を有効活用することを原則としております。

整備が見込まれる主な県営スポーツ施設には、奥武山水泳プール、県総合運動公園陸上競技場、自転車競技場があります。

奥武山水泳プールについては、平成19年度に実施設計及び建築工事に着手するとしており、平成21年度、完成予定となっております。

また、その他の施設についても、関係部局と調整を図りながら開催に向け、整備充実に努めてまいります。

(15) 毎年100人の海外留学生派遣について

質問要旨： 毎年100人の海外留学生派遣は、いつから実施し、現在の海外留学生数は何人で100人派遣に何人追加する考えですか。

答弁要旨： 現在、本県が実施している海外留学派遣事業は、国費4事業、県費3事業、合計7事業があり、毎年約80人を海外等に派遣しております。

国際性に富んだ創造性豊かな人材の育成を図るため、海外留学派遣事業の拡充を図り、100人の派遣を目指します。

○ 文教厚生委員会において以下の条例及び陳情の審議が行われた。

条 例

乙第8号議案 沖縄県全国高等学校総合体育大会運営基金条例 (可 決)

乙第9号議案 沖縄県立博物館・美術館の設置及び管理に関する条例 (可 決)

陳情新規2件

陳情第1111号の3 台風13号災害の復旧支援に関する陳情 (採 択)

陳情第122号 県立の「美術館」に関する陳情 (継続審査)

○ 少子・高齢対策特別委員会において以下の条例及び陳情の審議が行われた。

条 例1件

乙第6号議案 沖縄県認定こども園の認定の基準に関する条例 (継続審査)

陳 情2件

陳情第115号 「認定こども園」の認定基準の条例化に関する陳情 (継続審査)

陳情第116号 「認定こども園」の認定基準の条例化及び実施に関する陳情 (継続審査)

○ 米軍基地関係特別委員会において以下の陳情の審議が行われた。

陳 情 2 件

陳情第 1 1 8 号 ボーリング調査の中止と、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書に関する意見の概要」の取り扱い等に関する陳情
(継続審査)

陳情第 1 5 4 号 ボーリング調査の中止と、「公共用財産使用協議」の同意取り消し、「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境影響評価方法書」のつくり直しを求める陳情
(継続審査)